



# ○バリデーションメッセージ一覧 新旧対照表

第四版	第三版																								
<h2>はじめに</h2>	<h2>はじめに</h2>																								
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>																								
<p>Point   <b>例外発生時の修正のポイント</b></p> <p>一度に複数の例外が発生した場合は、上位に表示されている例外が原因で出力されている可能性があるため、メッセージの上位に表示されている例外から解消してください。</p> <p>表紙情報又は目次項目の例外が発生した場合は、選択した府令、様式等が正しいかについても併せて確認してください。</p>	<p>Point   <b>例外発生時の修正のポイント</b></p> <p>(追加)</p> <p>表紙情報又は目次項目の例外が発生した場合は、選択した府令、様式等が正しいかについても併せて確認してください。</p>																								
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>																								
<h3>1-1 バリデーションメッセージの見方</h3>	<h3>1-1 バリデーションメッセージの見方</h3>																								
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>																								
<p>図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>例外が発生した日時</th> <th>コード</th> <th>例外種別</th> <th>メッセージ種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012/12/25 12:34:56</td> <td>EC5711W</td> <td>[WARNING]</td> <td>ルール No.</td> </tr> <tr> <td colspan="4">SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. ( For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2013-03-31/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent. )</td> </tr> </tbody> </table> <p>↑                  メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。)</p>	例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別	2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	ルール No.	SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. ( For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2013-03-31/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent. )				<p>図表 1-1-4 GFM、FRTA 及び FRIS 検証に関する例外メッセージの例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>例外が発生した日時</th> <th>コード</th> <th>例外種別</th> <th>メッセージ種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012/12/25 12:34:56</td> <td>EC5711W</td> <td>[WARNING]</td> <td>ルール No.</td> </tr> <tr> <td colspan="4">SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. ( For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent. )</td> </tr> </tbody> </table> <p>↑                  メッセージ(確認対象となるファイル、要素名、規約等が表示されます。)</p>	例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別	2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	ルール No.	SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. ( For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent. )			
例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別																						
2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	ルール No.																						
SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. ( For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2013-03-31/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent. )																									
例外が発生した日時	コード	例外種別	メッセージ種別																						
2012/12/25 12:34:56	EC5711W	[WARNING]	ルール No.																						
SPEC_VIOLATION_FRIS_SHOULD_ERROR [FRIS 2.1.6] XBRL instances SHOULD use the recommended default namespace prefix for all namespaces. ( For the NamespaceURI='http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2012-06-30/jpcrp_cor', prefix defined in the XML Schema is 'jpcrp_cor' but prefix used in the instance is 'jplvh_cor'. Make the instance prefix consistent. )																									

## 1-3-1 提出書類全般に関する例外

(略)

図表 1-3-1 メッセージと対処方法 (提出書類全般に関する例外)

※xxx、yyy、zzz及びaaaは、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n及びmは数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
ERROR	EC1016E	画像ファイルが、 <u>300KB</u> を超えています。 ファイル名:xxx	該当する画像ファイルを <u>300KB</u> (キロバイト)以下のサイズで作成してください。
(略)			
WARNING	EC1022W	ファイルが、PDFファイルとして認識できません。ファイル名:xxx	該当するファイルをPDFファイルとして修正してください。 ※PDFファイル作成時に、「 <u>ファイル全体圧縮</u> 」(Object Stream 又はCross-Reference Stream)を使用している場合は、「 <u>ファイル全体圧縮</u> 」を使用せずにPDFファイルを作成してください。
(略)			
ERROR	EC1028E	ファイルに外部リンクが存在します。ファイル名:xxx	PDFファイルに、URIAction及びWebCaptureは使用できません。該当するリンクを削除してください。また、インラインXBRL又はHTMLファイルにおいて、CSSのプロパティ値 (uri) に外部参照を使用している場合も、該当する設定を削除してください。
(略)			

## 1-3-1 提出書類全般に関する例外

(略)

図表 1-3-1 メッセージと対処方法 (提出書類全般に関する例外)

※xxx、yyy、zzz 及び aaa は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n 及び m は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
ERROR	EC1016E	画像ファイルが、 <u>100KB</u> を超えています。 ファイル名:xxx	該当する画像ファイルを <u>100KB</u> (キロバイト)以下のサイズで作成してください。
(略)			
WARNING	EC1022W	ファイルが、PDFファイルとして認識できません。ファイル名:xxx	該当するファイルをPDFファイルとして修正してください。
(略)			
ERROR	EC1028E	ファイルに外部リンクが存在します。ファイル名:xxx	PDFファイルに、URIAction及びWebCaptureは使用できません。該当するリンクを削除してください。
(略)			

# 1-4-1 EDINET ルールに関する例外

(略)

図表 1-4-1 メッセージと対処方法 (EDINET ルールに関する例外)

※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
WARNING	EC8023W	インラインXBRLファイルにおいて、ix:nonFraction要素のsign属性に「-」(マイナス)を設定している場合は、ix:nonFraction要素のタグの直前に「△」を設定する必要があります。また、ix:nonFraction要素のsign属性に「-」(マイナス)を設定していない場合は、ix:nonFraction要素のタグの直前に「△」を設定する必要はありません。 <<要素=xxx>> <<コンテキストID=yyy>>	該当するコンテキストIDの要素を修正してください。 インラインXBRLファイルのix:nonFraction要素のsign属性に「-」(マイナス)を設定している場合は、ix:nonFraction要素のタグの直前に「△」を設定してください。 また、ix:nonFraction要素のsign属性に「-」(マイナス)を設定していない場合は、ix:nonFraction要素のタグの直前に「△」を設定しないでください。 ※注記事項では、データ内容が正常であつても、例外と識別され、警告が表示される場合があります。
(略)			
WARNING	EC8035W	提出者別タクソノミに追加した要素は、xxxを設定する必要があります。ファイル名:yyy <<要素名=zzz>>	該当する要素のラベルを設定してください。 提出者別タクソノミに追加した要素は、日本語の標準ラベル及び冗長ラベル並びに英語の標準ラベル及び冗長ラベルを設定してください。 ※IFRSタクソノミの場合は、冗長ラベルを設定する必要はありません。
(略)			

## 1-5 表示変換方式によるXBRLに関するメッセージ

(内容は、『バリデーションメッセージ一覧』を参照してください。)

# 1-4-1 EDINET ルールに関する例外

(略)

図表 1-4-1 メッセージと対処方法 (EDINET ルールに関する例外)

※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
SERIOUS WARNING	EC8023S	インラインXBRLファイルにおいて、ix:nonFraction要素のsign属性に「-」(マイナス)を設定している場合は、ix:nonFraction要素のタグの直前に「△」を設定する必要があります。また、ix:nonFraction要素のsign属性に「-」(マイナス)を設定していない場合は、ix:nonFraction要素のタグの直前に「△」を設定する必要はありません。 <<要素=xxx>> <<コンテキストID=yyy>>	該当するコンテキストIDの要素を修正してください。 インラインXBRLファイルのix:nonFraction要素のsign属性に「-」(マイナス)を設定している場合は、ix:nonFraction要素のタグの直前に「△」を設定してください。 また、ix:nonFraction要素のsign属性に「-」(マイナス)を設定していない場合は、ix:nonFraction要素のタグの直前に「△」を設定しないでください。
(略)			
WARNING	EC8035W	提出者別タクソノミに追加した要素は、xxxを設定する必要があります。ファイル名:yyy <<要素名=zzz>>	該当する要素のラベルを設定してください。 提出者別タクソノミに追加した要素は、日本語の標準ラベル及び冗長ラベル並びに英語の標準ラベル及び冗長ラベルを設定してください。
(略)			

(追加)

第四版（平成25年4月24日更新版）				第四版（平成25年3月21日公表版）			
<h2>1-4-1 EDINET ルールに関する例外</h2>				<h2>1-4-1 EDINET ルールに関する例外</h2>			
(略)				(略)			
図表 1-4-1 メッセージと対処方法（EDINET ルールに関する例外）				図表 1-4-1 メッセージと対処方法（EDINET ルールに関する例外）			
※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。				※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。			
例外種別	コード	メッセージ	対処方法	例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)				(略)			
SERIOUS WARNING	EC5100S	様式ツリーのルート要素が正しく設定されていません。	様式ツリーにルート要素を設定してください。また、目次要素に日本語標準ラベル及び冗長ラベルが設定されていない可能性があります。名称リンクの設定を確認してください。	(追加)			
SERIOUS WARNING	EC5101S	要素(ElementId:xxx)のyyyが設定されていません。	該当する要素の日本語標準ラベル及び冗長ラベルを設定してください。	(追加)			
SERIOUS WARNING	EC5102S	要素(ElementId:xxx)のデータ型プレフィックス(Prefix:yyy)とデータ型名(ElementTypeName:zzz)の組合せが正しくありません。	データ型のプレフィックスとデータ型名を確認し、合致するように修正してください。	(追加)			
SERIOUS WARNING	EC5103S	様式ツリーに目次要素(ContentId:xxx)が複数設定されています。	様式ツリーに同一の目次要素が複数出現しないように修正してください。	(追加)			
(略)				(略)			
ERROR	EC7008E	xxxが、設定されていません。	該当する報告項目をタグ付けし、値を設定してください。	(追加)			
ERROR	EC7009E	xxxの桁数に誤りがあります。《要素=yyy》 《コンテキストID=zzz》	該当するコンテキストIDの要素の値を修正してください。また、decimals属性及びscale属性も合わせて確認してください。	(追加)			
(略)				(略)			
SERIOUS WARNING	EC8035S	提出者別タクソノミに追加した要素は、xxxを設定する必要があります。ファイル名:yyy 《要素名=zzz》	該当する要素のラベルを設定してください。提出者別タクソノミに追加した要素は、日本語の標準ラベル及び冗長ラベル並びに英語の標準ラベル及び冗長ラベルを設定してください。※IFRSタクソノミの場合は、冗長ラベルを設定する必要はありません。	(追加)	(追加)	提出者別タクソノミに追加した要素は、xxxを設定する必要があります。ファイル名:yyy 《要素名=zzz》	該当する要素のラベルを設定してください。提出者別タクソノミに追加した要素は、日本語の標準ラベル及び冗長ラベル並びに英語の標準ラベル及び冗長ラベルを設定してください。※IFRSタクソノミの場合は、冗長ラベルを設定する必要はありません。
WARNING	EC8035W			WARNING	EC8035W		
(略)				(略)			

# 1-5-1 EDINET ルールに関する例外

(略)

図表 1-5-1 メッセージと対処方法 (EDINET ルールに関する例外)

※xxx、yyy は表示されるメッセージ又は文字列を表します。n 及び m は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
ERROR	EC5018E	表示情報ファイルのxxxタグの値:yyy が、重複しています (重複数:n)。	該当するタグの値を修正してください。不要な場合は、表示情報ファイルから削除してください。
ERROR	EC5019E	表示情報ファイルのxxxタグに、値が設定されていません (InstanceFileName:yyy)。	該当するタグに値を設定してください。
ERROR	EC5020E	表示情報ファイルのxxxタグに、値が設定されていません (InstanceFileName:xxx StatementID:yyy)。	該当するタグに値を設定してください。
ERROR	EC5022E	表示情報ファイルに定義しているファイル名が、本文ファイル名と重複しています。ファイル名:xxx	ファイル名の重複がないように、本文ファイル名又は表示情報ファイルに定義してあるファイル名を修正してください。

# 1-5-1 EDINET ルールに関する例外

(略)

図表 1-5-1 メッセージと対処方法 (EDINET ルールに関する例外)

※xxx、yyy は表示されるメッセージ又は文字列を表します。n 及び m は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
			(追加)
			(追加)
			(追加)
			(追加)

第四版（平成25年6月27日更新版）

## 1-4-1 EDINET ルールに関する例外

(略)

図表 1-4-1 メッセージと対処方法（EDINET ルールに関する例外）

※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
ERROR	EC8059E	「xxx(yyy)」の集計結果が、不整合です。	該当する要素の値が正しい結果となるように、値を修正してください。
WARNING	EC8059W		
(略)			

第四版（平成25年4月24日更新版）

## 1-4-1 EDINET ルールに関する例外

(略)

図表 1-4-1 メッセージと対処方法（EDINET ルールに関する例外）

※xxx、yyy、zzz、aaa、bbb 及び ccc は、表示されるメッセージ又は文字列を表します。n、m 及び l は数字を表します。

例外種別	コード	メッセージ	対処方法
(略)			
ERROR	EC8059E	「xxx(yyy)」の集計結果が、不整合です。	該当する要素の値が正しい結果となるように、値を修正してください。
(追加)	(追加)		
(略)			